

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7年 6月 23日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県吉野郡大淀町大字桧垣本1589番地

氏 名 株式会社 森下組
代表取締役社長 森下秀城

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0747-52-3535

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 森下組
事業場の所在地	奈良県吉野郡大淀町大字桧垣本1589番地
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	完成工事高 75億円
③ 従業員数	63人

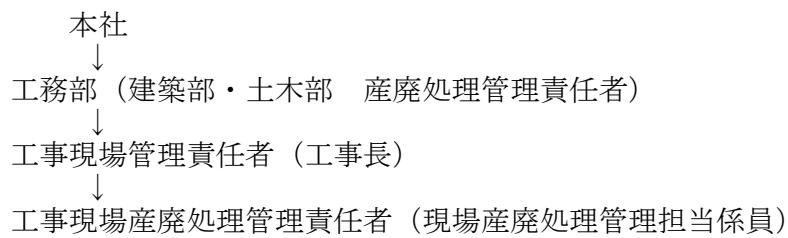
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>(解体工事)</p> <ul style="list-style-type: none">・がれき類→再生処分業者に委託→ 再生資源化・混合物→中間・最終処分業者に委託→ 埋立処理・金属くず→再生処分業者に委託→ 再生資源化 <p>(基礎工事)</p> <ul style="list-style-type: none">・汚泥→再生処分業者に委託→ 再生資源化 <p>(建築工事)</p> <ul style="list-style-type: none">・がれき類→再生処分業者に委託→ 再生採石として再生資源化
-----------------	--

(日本産業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】		
産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
排出量	57 t	1046 t
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・コンクリ・陶磁器くず類
排出量	2 t	31 t
産業廃棄物の種類	混合廃棄物	管理型混合廃棄物
排出量	65 t	21 t
産業廃棄物の種類	がれき類	廃油
排出量	3344 t	0.18 t
産業廃棄物の種類	金属くず	—
排出量	0.4 t	— t
(これまでに実施した取組)		
梱包材・包装材の削減（出荷時に簡易梱包・包装の依頼） 型枠工事の再利用可能建材（鋼製・FRP材）での施工による廃材の削減		
【目標】		
産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
排出量	50 t	1000 t
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・コンクリ・陶磁器くず類
排出量	2 t	30 t
産業廃棄物の種類	混合廃棄物	管理型混合廃棄物
排出量	60 t	20 t
産業廃棄物の種類	がれき類	廃油
排出量	3300 t	0 t
産業廃棄物の種類	金属くず	—
排出量	0 t	— t
(今後実施する予定の取組)		
工法の改善による産廃発生の削減		

産業廃棄物の分別に関する事項

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

①現状	がれき類・金属くず・紙・段ボールくず→再生可能廃材 その他（混合物）→その他処分 として分別・保管
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 継続・現状維持

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】					
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t		
(これまでに実施した取組)					
②計画	型枠材・鋼材の再利用				
	【目標】				
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t		
(今後実施する予定の取組)					
再生可能材料及び資材への工法・材質変更の検討					

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
②計画	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
特に実施していない。			
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)			

実施する予定はない。

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（令和6年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	—	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t
(これまでに実施した取組) 特に実施していない。				
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	—	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（令和6年度）実績】						
		産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	廃プラスチック類	ガラス・コンクリ・陶磁器くず類	混合廃棄物	管理型混合廃棄物
①現状	全処理委託量	57	1046	2	31	65	21	
	優良認定処理業者への処理委託量	25	2	—	31	24	19	
	再生利用業者への処理委託量	57	1046	1	—	—	—	
	認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃油	金属くず	—	—	—	
	全処理委託量	3344	0.18	0.4	—	—	—	
	優良認定処理業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	
	再生利用業者への処理委託量	3337	—	0.4	—	—	—	
	認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	

	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—	—	—	—	—	—
(これまでに実施した取組) 現場内からの廃材を分別し、再利用業者への処理委託を行い最終処分量 を削減する。							

(第5面)

※事務処理欄